

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岩手県

行事名称	「第70回文化財防火デー」盛岡市中央公民館火災防御訓練及び特別査察（盛岡市）
実施期間・日時	火災防御訓練：令和6年1月26日（金曜日） 8：30から9：30まで 特別査察：令和6年1月26日（金曜日） 10：30から11：50まで
実施場所	火災防御訓練：岩手県立博物館（盛岡市上田字松屋敷34番地） 特別査察：啄木新婚の家（盛岡市中央通三丁目17番18号）
主催者	火災防御訓練：盛岡中央消防署、盛岡中央消防署松園出張所 特別査察：盛岡市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

●岩手県立博物館火災防御訓練

令和6年1月26日（金）8時45分頃、「旧佐々木家住宅」から火災が発生したとの想定で訓練を実施した。

訓練の内容

大型車両が侵入困難なことから、消防車両を先行させ、中継送水による火勢鎮圧及び延焼阻止に重点を置いた訓練を実施するとともに、「旧佐々木家住宅」からの人命救助訓練を実施した。また、自衛消防隊（岩手県立博物館）による通報訓練、避難誘導訓練を実施した。

参加者及び役割分担

●防御訓練実施

- ・岩手県立博物館自衛消防隊（12名）：初期消火、通報、避難誘導
- ・盛岡中央消防署9名、盛岡中央消防署松園出張所8名
盛岡中央消防署山岸出張所4名（15名）：統括、情報収集、耐火建築物火災防御、救助救出
- ・盛岡市消防団本部（5名）：放水体系の設置、放水
- ・盛岡市消防団第10分団2部（5名）：同上
- ・盛岡市消防団第16分団（5名）：同上

●訓練の参観等

- ・松園地区自治協議会及び小鳥沢町内会等の参観（約30名）、盛岡市教育委員会（2名）

特に工夫した点

岩手県立博物館は、国指定重要文化財の土偶（盛岡市手代森遺跡出土）等を所蔵するほか、敷地内に国指定重要文化財の旧佐々木家住宅及び旧藤野家住宅が所在し、大切に守られてきた経緯がある。今回の防御訓練は地域住民も参観し、同時に地域住民による初期消火訓練等を実施したことで、地域の防火に対する姿勢と文化財愛護の意識が一層醸成されたと考えられる。

問題点・課題

敷地内に所在する文化財建造物はいずれも木造であり、火災が発生してしまうと瞬く間に焼失してしまう恐れがあるため、日頃の防火対策や電気系統の定期点検など、職員の意識向上、弛まぬ訓練等により、被害を未然に防ぐ体制を整えておく必要がある。

その他

●特別査察の実施

文化財の所有者等に対して、火器に関する安全指導や消防用設備等の維持管理、震災に係る防火対策、内外巡視等の励行、文化財搬出指導、防火管理体制等に関する特別査察を行った。今年度は、盛岡市指定文化財の啄木新婚の家及び市指定文化財を所有する久昌寺に対して実施した。署員から適切なアドバイスをいただき、文化財所有者等は日頃の防火体制を見直す機会となった。

訓練風景

別紙により提出



火災発生



ホース設置(1)



ホース設置(2)



署の放水(1)



署の放水(2)



分団の放水(1)



分団の放水(2)



要救護者の搬出



ホースの収納



初期消火訓練(1)



初期消火訓練(2)



閉会式